

質疑応答・意見の概要		
番号	質問・意見	回答
第1部（まほろばホール）		
1	町長が町民或いは議員との話し合いの機会をもっと作るべきではないか。	今後はタウンミーティングのような場、もしくは違った形で対話する機会を作っていきます。
2	町の目標としている具体的な数字を示してそれに向かって計画的に事業執行していくべきではないか。	河合町では色々な計画を作成・公表し、その計画に基づき執行しています。例えば平成27年度に将来目標人口を示した「河合町人口ビジョン」では2060年に15,500人を保つことを目指しています。これは現在国の人口1億2千万人を2060年には1億人に下げ止める長期ビジョンに合わせたものです。これを保てば本町でも将来の経済規模の低下は招かないと推測できます。このビジョンに基づく事業計画として「河合町街再生総合戦略」を策定し執行しています。
3	財政健全化計画において、住民負担が増加したりサービスが低下する項目については事前に具体的な将来の収支見通しを示して丁寧な説明をすべきではなかったのか。	財政健全化計画の実施についてはご心配をおかけして申し訳ありません。厳しい財政状況の中、公共施設利用者或いは、各種団体代表の方と慎重に協議をさせていただいております。その中で、必要と判断されれば補正予算等での対応も検討します。また認定こども園や庁舎耐震化等も踏まえた見直し後の財政健全化計画で8年間の収支見通しを示しております。今後は必要に応じて更新し公表していきたいと考えています。
4	河合町は非常に住みやすい町であるので、そんな町にふさわしい施設も必要になってくる。認定こども園は県内の他自治体でもうまく活用されているので河合町でも国の補助をうまく活用し進める前提で、修正すべき点は修正するという議論を展開してもらいたい。	貴重なご意見ありがとうございます。今後もさらに住みやすい町となるよう事業展開していきます。
5	認定こども園そのものは良いことと思う。しかし、河合町の厳しい財政状況で新たに起債	認定こども園建設に係る起債額は約12億円を予定しています。うち、6億円は国の支

	<p>をしてまで建設する必要はない。住民負担増加やサービス低下が懸念される今の河合町で認定こども園が出来たからといって人口増に直結しないとも思う。学校統廃合で残った跡地への建設や保育士不足等の対策も含めて総合的に検討した方が良いのではないか。</p>	<p>援措置があります。残りの6億円を仮に約20年で償還するとして1年あたり約3千万円を想定しています。財源は町有資産の売却や過去の起債に対する繰り上げ償還も検討しています。保育士・教諭数は認定こども園説明会等での保護者の方からの要望や現場の保育士・教諭からの意見を踏まえた上で適切に配置します。</p>
6	<p>認定こども園の建設に対して将来人口が減少していく中、起債償還の負担は将来上がると予想される。既存の町有資産を活用して金額を抑えることはできないか。</p>	<p>現在の厳しい財政状況は人口減少、少子高齢化による歳入の減少が大きな要因となっています。このような中で、緊縮財政運営だけでは人口減少に拍車がかかり町の衰退に繋がります。そこで県立馬見丘陵公園に隣接し緑豊かな絶好の環境にある場所で認定こども園を運営することは、人口を増やす投資的財産として、最大限の財源確保をしながら、今、進めていく必要があると考えています。</p>
7	<p>財政状況が厳しいからこそ住民に対して更に丁寧な説明をするべきではないか。財政健全化の資料に書いている、人口を増やすための他町ではまねの出来ない独自施策もよくわからない。そういったことも、住民が理解できるように説明すれば人口減少対策にも協力しようと言う気持ちになるのではないか。</p>	<p>河合町の住みやすさを前面に押し出し策定したのが河合町街再生総合戦略です。この中には河合町だけができる施策を示しています。例えば映画館、ショッピングセンター、さらに大きな県立馬見丘陵公園もあります。まだまだありますが、そういったブランドを発信し、一度出て行った若い世代に戻って住んでいただく、或いは出て行こうとする方に留まって住み続けていただくよう河合ブランドを磨き上げていきます。</p>
<p><b>第2部 (中央公民館)</b></p>		
8	<p>河合町の知名度が低い中で、認定こども園を建てたから人口が増えるとは考えにくい。小中学校の統廃合も含めて、経費がどのくらいかかるのか、先を見据え数字で示して説明するべき。</p>	<p>北葛城郡4町共同で移住PRポスターを多方面で掲示したり、大阪に出向き、直接名前を売り込んでいます。また地方創生の交付金を活用し、「ここが河合町」と思っていただけの情報発信ツールも整えました。今後も、知名度アップに繋がるプロモーション活動に積極的に取り組んでいきます。</p> <p>学校統廃合の件は保護者へのアンケート調査やパブリックコメントを踏まえ住民の皆</p>

		様に方向性を示していきます。 統廃合にかかる経費はまずは議会で説明した上で皆様にお示ししていきます。
9	当初予算否決の可能性が出ている中で、修正予算を審議する期間も必要になると思う。通例3月に当初予算を計上しているが2月に議会を開く検討も必要ではないか。今回のような行政サービスカットも含まれているなら住民不安も生じる。	河合町の条例において、3・6・9・12月に議会を開くと規定されています。なぜ3月に議会に当初予算が計上されるかですが、予算編成は10月から2月中頃までにわたりますので時間的に余裕がないこと、また、国の財政対策は年明けに通知が届くためそれを反映させる必要があること等で3月でなければ日程が困難になります。3月でも早い日で開催できるよう議会とも調整していきます。
10	認定こども園を三小跡地に建設した場合の総工費は5億4千8百万円と確認したがそんなにかかるのか。	5億4千8百万円の算出根拠は、県内で小学校を改築して、建設された認定こども園の改築費の㎡単価を参考にして算出しております。本町のこども園は木造、一部鉄筋構造で、㎡単価では約41万2千円でございます。東京オリンピックの開催が決定しておりますので、建設業界では工事増加に係る、資材等の調達が追いつかないため、単価が高騰している状況となっております。
11	河合町の赤字が全然解消されてないと思います。若い人に住んでもらおうとしているのは分かるが、河合町に住むメリットが感じられない。	河合町はこれまでも、財政的に厳しい時期がありました。それは皆様のご協力や我々の努力の結果です。1つの数値或いは一時期だけを捉えて河合町の財政状況を判断しないで、収支見通しも含め全体を見てもらえれば、今後も赤字団体にならないことが分かってもらえると思います。
12	税収等収入は少子高齢化で減少しているが、支出は法律で決まっている分は最低限確保しなければならない。そうなれば町独自の支出をカットする必要がある。大事な子どもや孫が最高の環境で就学前から勉強できる認定こども園が、今なら国からいくらか支援を受けられる起債を活用して建てられるので	貴重なご意見として承りました。

	あれば、我々の負担贈も一定期間だけは辛抱する時ではないか。	
13	河合町は弱い立場の方々に非常にやさしい町であると感じている。今後もその方向性は継続した行政運営をしてほしい。	貴重なご意見をいただきましたので、我々、肝に銘じてこれからも行政運営してまいります。
14	お金をかけずに多方面に河合町の魅力を発信できる方法があると思う。自作で町PR動画をユーチューブにアップすれば町外に出た町出身の若い世代にも河合町の魅力を届けられる。	すな丸体操というのが今年できましたので、そういったものをプロモーションしていきます。PR動画を作ってユーチューブにアップすることは政策提案として承ります。